

巻頭言

組織問題と大学



経済学部長
藤田 暁 男

最近、株式会社のような営利組織であれ福祉施設のような非営利組織であれ、現代の組織の在り方として、「ステークホルダーの組織」ということが注目されている。ステークホルダーとは、その組織の成員(組織役員、従業員)ばかりでなく組織にかかわる全ての人々(株主、利用者、住民)のことを指し、それらの人々の組織意思決定過程への「参加」が注目されている。イギリスでは、この論議にブレア労働党新首相も深くかかわっており、「ステークホルダー・ソサヤティ」への社会実験が始まる気配である。

これらの組織問題論争の一つの焦点は、参加民主主義と組織の効率・効果との関係である。現在、本学で進行している「全学的各種委員会等見直し検討委員会」の論議も本質的にはこの問題に関わっている。大学の外からの競争的圧力を強く意識する人々は後者の側面を強調し、ともすれば前者を軽視しがちである。大学の中の構成員の意思反映を強く意識する人々は前者を強調し、ともすれば後者を軽視しがちである。両者を二律背反として捉えるのではなく、その合理的な構成を創出する努力をしてこそ、大学は現代社会の主導的組織となり得るのではないだろうか。

今月の表紙写真

Cover Photo

大学入試センター試験行われる

(関連記事は2ページ)



センター試験の最初の科目となった“外国語”の試験開始直前
=1月17日午前、総合教育棟講義室(角間)で

● 本学出願者の願書受付も始まる



集まってきた願書を整理する事務職員
=1月30日午後、文・法・経済学部事務室(角間)で





平成10年 学長年頭あいさつ “ 時を得る者は栄え、失う者は滅びる ”



恒例の学長年頭あいさつが1月5日、事務局大会議室で行われた。

岡田晃学長は、集まった約160人の本部職員に対し、「金沢大学は、今、新しい時代を迎えようとして、いわば草木が地中で成長する時代にある。時を得る者は栄え、時を失う者は滅びる。機会をうかがい、時がきたなら、トラのような機敏さと抜群の行動力を見せてほしい。」と激励した。

学長の年頭のあいさつを聞く本部職員
= 1月5日午前、事務局大会議室で

石川 県内 本学を中心に約6,200人が挑む 平成10年度大学入学者選抜入試センター試験



注意事項を伝える試験監督者
= 1月17日午前、総合教育棟講義室(角間)で

1月17日、18日の両日に行われた「平成10年度大学入学者選抜入試センター試験」は、全国で(大多数が受験する外国語で)約54万人が受験した。石川県内では、本学を中心に4大学で試験が行われ、うち本学の七つの試験場でも合計約5,000人の受験生が問題に取り組んだ。

今後、金沢大学入学者選抜試験前期日程が2月25日に、同後期日程が3月12日に行われる。



緊張して試験開始を待つ受験生
= 同上

関連の写真もう2枚を
表紙にカラーで紹介





創立50周年記念式典・祝賀会の日程決まる

平成11年(1999年)5月29日(土)に...

募金は本年3月から開始の予定

創立50周年記念事業委員会は、1月16日、“記念式典・祝賀会”を平成11年5月29日(土)とし、この日を中心にシンポジウム・特別講演等を実施することなどを決定した。

さらに、2月9日には記念事業後援会の設立総会を開催し、募金の目標額を3億円とし、教職員・卒業生・企業等に対して3月から募金活動を開始することとした。

なお、既に決定している記念事業計画の概要は下表のとおり。

事業名	事業計画の概要
50周年記念エリアの整備	<ul style="list-style-type: none"> 角間キャンパスに、創立50周年を記念して、地域に開かれ、自然との調和を象徴する「エントランスゾーン」及び「散策路」を整備 <p>計画図は裏表紙にカラーで紹介</p>
50年史の刊行	<ul style="list-style-type: none"> 部局史(約1,000頁)6,000部 平成11年5月刊行 全体史(約1,000頁)6,000部 平成12年3月刊行 <p>(写真集の刊行も検討中)</p>
記念式典・祝賀会	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年5月29日(土)に式典・祝賀会を実施
50周年記念展示	<ul style="list-style-type: none"> 創設以来の行政文書、写真、映像、キャンパス模型等及び四高関係資料等を収集・展示(資料館、総合教育棟) 期間:平成11年5月29日(土)~6月11日(金)
国際シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 海外から著名な研究者等を招へいし、身近な問題をテーマとする学術的シンポジウムと市民参加のシンポジウムを開催
特別講演	<ul style="list-style-type: none"> 著名な文化人等による特別講演会を開催
若手研究者シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> 国内外で活躍中の若手研究者(卒業生、留学生等)を招へい テーマ「金沢大学の現状と問題点」
地域交流に関する企画	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流シンポジウム、小中高生との交流行事等を実施
協賛行事	<ul style="list-style-type: none"> 各部局、学生サークル等、同窓会及び地域の企業等が実施する行事



館 昭 氏を招いて 「学位授与機構」について学ぶ

教養教育機構研究調査部は、1月26日総合教育棟で、大学審議会特別委員として様々な教育改革に携わり、現在、学位授与機構教授の館 昭氏を招いて、公開講演会を開いた。

本年度の第2回目となる今回は、「学位授与機構と大学教育」をテーマに、新しい大学教育の在り方と学位授与機構の役割について講演が行われ、教職員約30名が聴講した。



館 昭 氏の話に熱心に耳を傾ける教職員
= 1月26日午後、総合教育棟会議室(角間)で



講演する館 昭 氏
= 同上

公務員を目指す学生に キャリアガイダンスを開く

1月13日、文・法・経済学部棟(角間)で行われた“第11回キャリアガイダンス”は、地方公務員志望者を対象として行われた。講師の本 浩行氏(石川県人事委員会事務局次長)は、職務や採用試験等について語り、就職の最新情報を得ようと約350人の学生が集まった。また、これに併せて、公務員内定者による“就職活動体験報告会”も催され、詰めかけた学生らは先輩の話に熱心に耳を傾けた。

さらに同20日には、国家公務員志望者を対象として、人事院中部事務局第二課試験係長の稲塚祐二氏を講師に招き、“第12回キャリアガイダンス”が実施された。



公務員採用試験に際しての心構えなどを話す本 浩行氏
= 1月13日午後、文・法・経済学部講義室(角間)で



自らの就職活動体験談を語る橋本岳文さん(経済学部) (写真中央)
= 同上





20歳。おめでとう！ 新成人の“新たな門出”を祝う

1月13日、学長室で平成9年度内に20歳を迎える職員を対象とした「平成10年成人祝賀式」が行われた。

岡田晃学長から記念品と激励の言葉が贈られると、今回、本学職員で唯一の新成人となった **さん**(施設部建築課)はうれしそうに謝意を述べていた。



岡田学長から記念品を受け取る **さん**(右)
=1月13日午前、学長室で

エイズに関する講演会を実施

学生部と保健管理センターは、1月13日に、医療技術短期大学部(鶴間)で本年も、エイズとその感染予防に関する正しい知識を普及することを目的に「エイズに関する講演会」を開いた。集まった約120人の学生は、講師の大竹茂樹助教授(医学部附属病院)の話に熱心に耳を傾けてい



講演を前にして紹介される大竹助教授(写真中央)
=1月13日午後、医療技術短期大学部講義室で

ロシアの留学生が 地域住民と交流

1月26日、内外学生センター(金沢市若松町)で、外国人留学生との対話を楽しむ国際交流事業「友遊サロン」(田上公民館主催、4回目)が開催された。講師として招かれた、イルクーツク経済アカデミー(本学経済学部協定校)出身者で本学留学生トカチェンコ・オリガさん(社会環境科学研究科1年)とヤルニナ・ユリアさん(経済学部3年)は、約30人の地域住民を前に、祖国ロシアと日本の文化・生活習慣の違いについて語った。また、将来の夢についても「もっと国際的に視野を広げて学者になりたい」などと話し、交流を深めていた。



参加者との対話を楽しむオリガさん(左)とユリアさん
=1月26日夜、内外学生センターで



あまのはら～ …「はい!」 養護学校で“かるた大会”

1月29日，附属養護学校(東兼六)で，今年19回目となる高等部の“かるた大会”が行われた。生徒は，この日のために，冬休みの課題として，百人一首の暗記やかるた取りの練習をしており，本番ではやる気満々!先生の読む声を真剣な表情で聞き，元気よく札を取っていた。また，百人一首だけでなく，「絵カード」によるかるた取りもあり，全員が楽しく競技に参加していた。



盛り上がった“かるた大会”の様
= 1月29日午前，教育学部附属養護学校で

分かって!!「盲ろう者」のこと 福島助教授，思いを込めての1冊を出版

自らが「光」と「音」の世界を失い，“障害児教育”に情熱を注ぐ福島^{きよし}助教授(教育学部)は，このほど「盲ろう者とノーマライゼーション」と題する本を出した。

自分自身の経験や悩みを生かして，過去5年間に書きためた原稿をまとめた1冊であり，柔らかい文体の中にも“一般社会や職場における福祉の在り方”が強く訴えられている。

(圖書の紹介は7ページ)



“指点字”通訳者・光成沢美^{みつなりさきみ}さんのサポートを得て取材に応じる福島助教授(右)
= 1月30日午後，教育学部内の研究室(角間)で



資料館コレクション(その10)

ひびのしんいち 「日比野信一教授肖像」 たかみつがすや (高光一也(1907~1986)作)

作者高光一也は，豊かな感性とダイナミックな形態把握による人物描写で著名な画家であり，日展等で活躍した。昭和38年日展文部大臣賞，同46年日本芸術院賞を受賞し，また同61年には文化功労者となるなど，全国的に地位を確立した。

本作品は，本学一般教養部長(昭和28年)を務めた日比野信一元教授の退官記念として同教授退官記念事業会が高光画伯に制作を依頼した肖像画であり，画伯の充満した力感が感じられる名品である。



「日比野信一教授肖像」が保管されている資料館収蔵庫

作品を裏表紙にカラーで紹介





本学職員の著書紹介コーナー

加賀城下町の言葉

島田 昌彦 (文学部教授) 著
発行所：能登印刷出版部 (1,800円 税別)

加賀金沢の地に息づく“金沢言葉”の美しさを紹介し、次代に継承されるよう訴えている。例えば、「おきのどくな」や「いとっしゃ」といった主客一体化の表現は、やさしく奥深い金沢言葉の精神を伝えている。

「第一章 金沢言葉の世界」、「第二章 年中行事と金沢言葉」、「第三章 金沢言葉の実質」の構成で、25年間金沢に暮らした東京生まれの著者ならではの考察が味わえる。

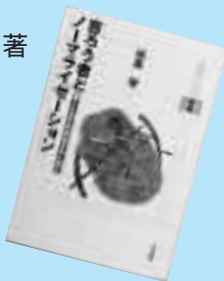


著書を手にする島田教授
= 2月2日午前、文学部内の研究室(角間)で

本コーナーに著書の掲載を御希望の方は、庶務課研究協力・広報係(電話264-5019)まで御連絡ください。

盲ろう者とノーマライゼーション 癒しと共生の社会をもとめて

福島 智 (教育学部助教授) 著
発行所：明石書店
(2,800円 税別)



視覚・聴覚の両方に障害を持つ「盲ろう者」の全般について書かれた初めての一般書籍。

第一章では、盲ろう者をめぐる様々な問題、第二章では、盲ろう者のコミュニケーションについて、第三章では、盲ろう者への理解や社会の在り方などについてが述べられている。第四章には、著者の論文二編が掲載され、最終章では、将来における障害者一般と教育・福祉・社会との望ましい関わりについて書かれている。

(関連記事は6ページ)

訃報

1月、本学で現職お一人がお亡くなりになりました。ここに御報告するとともに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



岡部佐規一 教授

(工学部)
1月27日逝去
享年55歳

編集後記

いよいよ毎朝、布団と離れ難い季節になってしまった。今年の冬は、雪の降り始めるのも遅く、初めて雪道を運転することになった若葉マークのドライバーとしては、内心、胸をなでおろしていた。...が、近頃では角間の景色も雪をかぶってまるで水墨画のようだ。

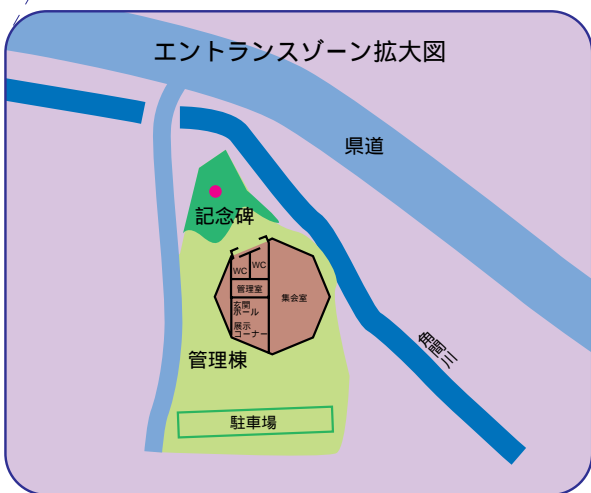
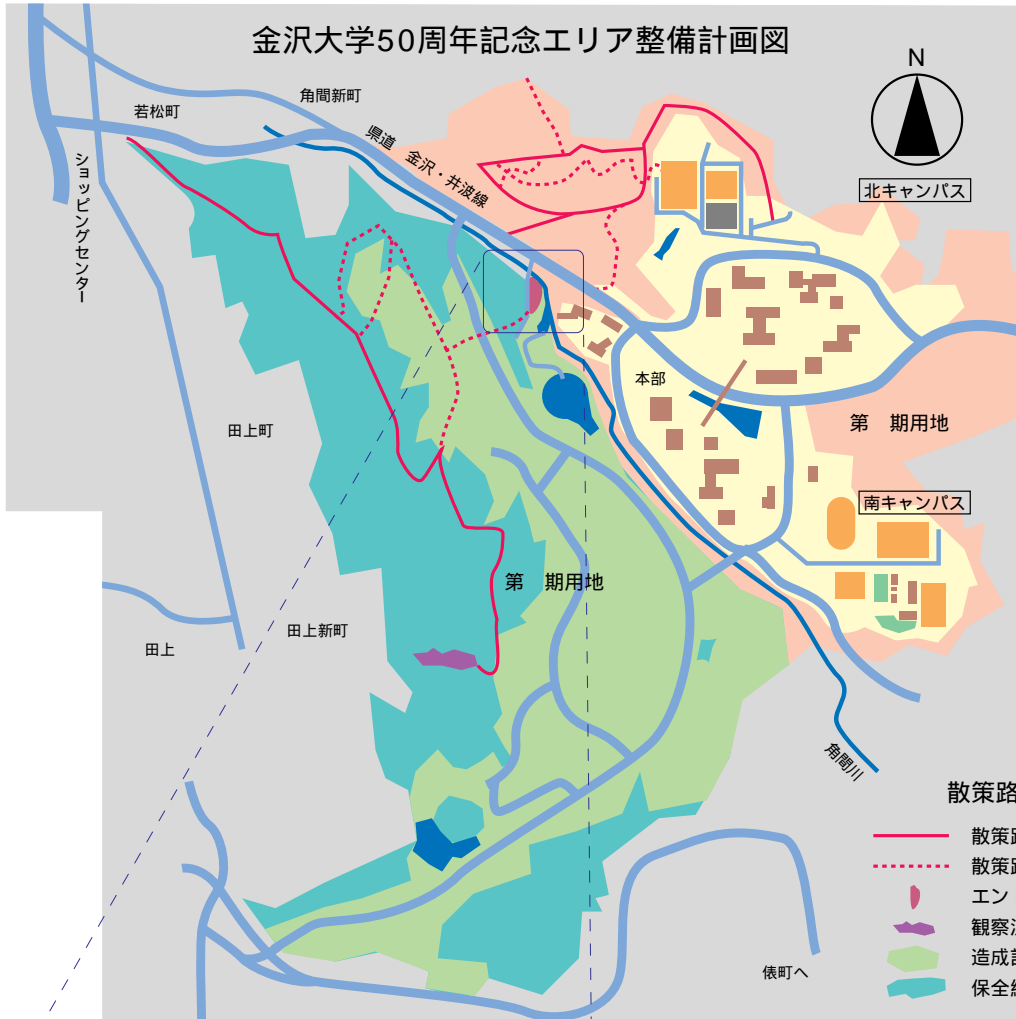
さて、若葉マークといえば、本紙の編集に携わって4月でまる1年になろうとしている。この編集後記も2回目だ。初回は何を書いているのかも分からず、固い文面になってしまったのを覚えている。1年の間、「気負わず、気張らず、しかし

迅速かつ正確に」をモットーとして(あくまでもモットー)がんばってみた。写真の方もなかなかどうしてそう簡単にうまくは撮れない。記事を書くのも思うほど簡単ではない。今後とも精進すること、山積みである。

本紙の表紙と2頁にも掲載したが、センター試験も終わり、入試も山場である。春には晴れて初々しい新入生がやってくるのだ。自分が通り過ぎて久しい道ではあるが、いつまでもあの頃の初々しい気持ちを忘れずに、山積みとなった課題や新しい物事に挑戦していこうと思う。(黒田)



このページには、カラーで紹介するのにふさわしい写真を集めてあります。



(関連記事は3ページ)



(関連記事は6ページ)

平成10年2月20日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピーズ)」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

